

# 日本実践美術教育学会 第38回岡山大会

とき  
2022年4月29日(金)  
30日(土)

ところ  
岡山大学 教育学部 講義棟

# 日本実践美術教育学会で あすなろ保育園・あすなろ第2保育園が、 学会賞を受賞しました！

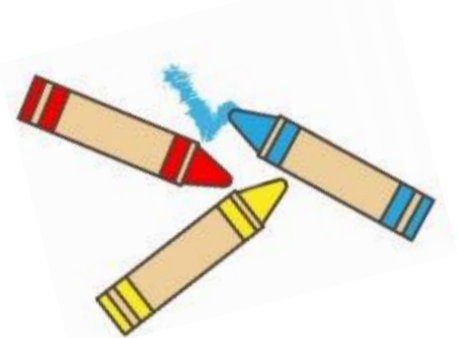
あすなろ保育園・あすなろ第2保育園では、造形活動に力を入れています。

造形活動では、身のまわりにある材料を集めたり、扱ったりする中で、素材の特徴や扱い方を施行錯誤しながら学びとり、自分なりの工夫・創造性を働かせ、作ったり、描いたりする喜びを自分の目と心と体を使うことにより、自己を伸び伸びと表現する経験を大切にしています。

園児のみなさんの造形活動が認められ、世界児童画展において、あすなろ保育園が文部科学大臣奨励賞(団体の部)(計1回)、都道府県団体賞(計6回)しています。両園の園児のみなさんの個人賞もたくさん受賞していますよ。



賞状授与の様子  
(あすなろ第2保育園:竹内寛和園長)



学会受賞者として、【子どもたちがいきいきと活動できる環境づくり】をテーマに、主に、当法人の雇用管理や雇用に関する制度の側面から講演をしました！

あすなろ第2保育園：板垣保育士と中村保育士が実践発表しました。【Let'sトラベル！みんなの世界へ、さあ行こう！】のテーマで研究発表をしました！



講演の様子(集合参加・オンライン参加あり)



## 出会いの中で...

- ★安心できる環境を整える
- ★身体の発達発育を促え、それに合った素材を用意する
- ★“伝えたい”の気持ちを受け止め、思いを認めながら共有していく
- ★日々の生活の中で子どもと保育者が信頼関係を築いていく



発表の様子

- 0・1・2歳児では、絵の具や小麦粉、水などの様々な素材との出会いを楽しんでいます。
- 3・4・5歳児では、それらの経験をもとに、空想の世界を描くことを楽しんでいます。遊びを楽しむ子どもたちの姿から、よりよい保育者の関わり方を考え発表しました。



質疑応答



会場からのご意見・ご質問

## 大橋会長より講評



## 自由に、のびのびと。

- ★何に興味をもっているんだろう？
- ★どのような声掛け・導入をしたら、子どもたちの「わくわく」を引き出せるだろう？
- ★一人ひとりの表現の仕方によって保育士の受け止め方も変わってくる
- ★一人ひとりが安心して表現できる環境づくり

そしてなによりも...



今日も、こんな顔がみたい！



プレーメンは夜の可。星がきれい。お月さまがまるい。(Nくん)



電気がついてるお家の中 みんなでお歌を歌ってるよ(Kくん)

